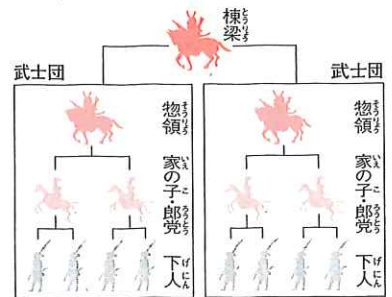


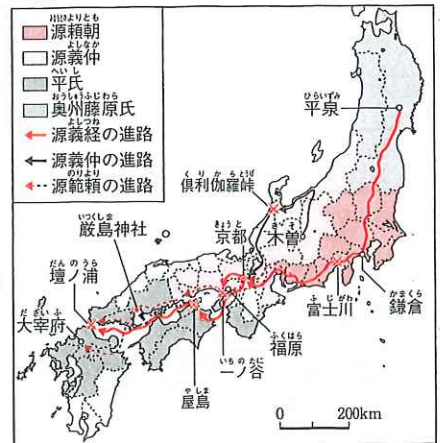
1 武士の成長

- 1 武士の登場 都の武官や地方の豪族が**武士**になり、警備などを行う。
- 2 武士団の形成 武士が一族や家来を従え、**武士団**を作る。10世紀、北関東で平将門、瀬戸内地方で藤原純友が、朝廷に反乱を起こす。⇒
 - (1) **源氏と平氏** 源氏は、源義家が東北地方の前九年合戦・後三年合戦を以て東日本で勢力を広げる。平氏は西日本で勢力をのびず。
 - (2) **奥州藤原氏** 平泉(岩手県)に中尊寺金色堂を建てる。
- 3 荘園・公領での武士の役割 荘園では、土地開発者が農民から年貢を集め、領主に納める。公領は、国司が治める土地。武士は、朝廷への税は免除、地方で荘園を支配、荘園や公領に館を建て、犯罪の取りしまりや年貢の取り立てを行う。

1 武士団



2 源平の争乱

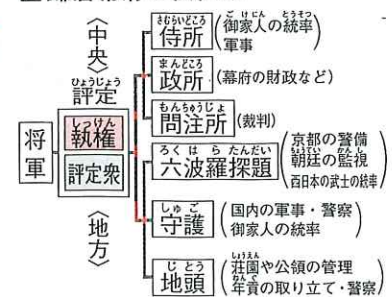


平氏に対し、伊豆(静岡県)の源頼朝や、木曾(長野県)の源義仲が兵を挙げた。

2 院政から武士の政権へ

- 1 院政と武士 1086年、白河天皇は、位をゆずって**上皇**となり、**院政**を始める。上皇や寺社の下に多くの荘園が集まる。政治の実権を握り、僧兵をかかえて勢力を拡大。めぐって都で**保元の乱**、**平治の乱**が起こる。**平清盛**が源義朝を破る。
- 2 平清盛の政権 平清盛が日本で初めての武家政権を作る。
 - (1) 平清盛の政治 武士として初めて太政大臣となり、一族を高位に就ける。兵庫の港(神戸市)を整備して日宋貿易を行う。航海の安全を祈り厳島神社を整備。
 - (2) 源平の争乱 平氏の政治に不満が強まり、各地で武士が兵を挙げる。**源頼朝**は鎌倉(神奈川県)を拠点に関東地方を支配。弟の**源義経**が壇ノ浦(山口県)で平氏をほろぼす。⇒

3 鎌倉幕府の仕組み



3 鎌倉幕府の成立と執権政治

- 1 鎌倉幕府の始まり
 - (1) **鎌倉幕府** 源頼朝は、1185年、国ごとに**守護**、荘園・公領に**地頭**を置くことを朝廷に認めさせる。頼朝が立てた政権を鎌倉幕府という→**鎌倉時代**。奥州藤原氏をほろぼし、東日本を支配する。⇒
 - (2) 将軍と武士 1192年、源頼朝は**征夷大将軍**となる。将軍に忠誠をなかった武士は**御家人**となり、**御恩**と**奉公**の主従関係で結ばれる。
 - 御恩 将軍が、武士が持つ領地を保護し、新しい領地をあたえる。
 - 奉公 御家人は、京都や鎌倉を警護し、命がけで軍役に果たす。
- 2 執権政治 源頼朝の死後、頼朝の妻政子の父である北条時政が幕府の実権をにぎる。以後、北条氏が**執権**の地位を独占して、**執権政治**を行う。
 - (1) **承久の乱** 源氏の将軍が3代で絶えると、1221年、**後鳥羽上皇**が幕府をたおそうと兵を挙げる。上皇軍は、北条政子の演説で結束した幕府の大軍に敗れ、上皇は隠岐(島根県)に流される。乱後、幕府は京都に**六波羅探題**を置いて朝廷を監視させ、西国にも支配を広げる。
 - (2) **御成敗式目**(貞永式目) 1232年、執権北条泰時が、武士の社会の慣習に基づき、政治の判断の基準として制定する。⇒

4 御成敗式目

- 諸国の守護の職務は、頼朝公の時代に定められたように、京都の御所の警備と、謀反や殺人などの犯罪人の取りしまりに限る。
- 武士が20年の間、実際に土地を支配しているならば、その権利を認める。
- 女性が養子をとることは、律令では許されていないが、頼朝公のとき以来現在に至るまで、子どものない女性が土地を養子にゆずりあたえる事例は、武士の慣習として数え切れない。

確認問題

次の問いに答えなさい。

20問

- 1** (1) 地方で成長した武士が、惣領の下、家の子・郎党、下人などの多くの家来を従えて作ったまとまりを何というか。 _____
- (2) 11世紀後半に東北地方で起きた前九年合戦、後三年合戦をはずめて、東日本に勢力を広げたのは何氏か。 _____
- (3) 12世紀後半に、瀬戸内海かいぞくの海賊をはずめて、西日本に勢力を伸ばしたのは何氏か。 _____
- (4) 平泉を中心に、金や馬などの産物と北方との交易によって栄え、独自の文化を築いていたのは何氏か。 _____
- 2** (5) ①白河天皇は、天皇の位をゆずって何という位に就いたか。②天皇が位をゆずったあとも中心となって行う政治を何というか。 _____
- (6) 1156年、天皇や上皇の対立から、京都で起こった戦乱を何というか。 _____
- (7) 1159年、都で起こり、源義朝が破れた乱を何というか。 _____
- (8) 1167年、武士として初めて太政大臣の位に就いた人物はだれか。 _____
- (9) 伊豆いずで平氏打倒だとうの兵を挙げ、関東地方を支配した武士はだれか。 _____
- 3** (10) 1185年に朝廷から設置を認められた役職のうち、①国ごとに置かれ、軍事・警察にあたった役職、②荘園・公領ごとに置かれ、土地の管理や年貢の取り立てにあたった役職を何というか。 _____
- (11) 源頼朝が立てた本格的な武士の政権を何というか。 _____
- (12) 将軍と主従関係を結んだ武士を特に何というか。 _____
- (13) 将軍が家来となった武士の以前からの領地を保護したり、新たな領地をあたえたりすることを何というか。 _____
- (14) 将軍に忠誠をちかって家来となった武士が、京都や鎌倉を警備し、戦いが起こったときには生命をかけて軍役の義務を果たすことを何というか。 _____
- (15) 幕府の実権をにぎった北条氏が独占した、将軍を助けて政治を行う職を何というか。 _____
- (16) 1221年、政治の実権を朝廷に取りもどそうとした後鳥羽上皇が兵を挙げ、幕府の大軍に敗れたできごとを何というか。 _____
- (17) 幕府が朝廷の監視のために京都に置いた役所を何というか。 _____
- (18) 1232年、北条泰時が武士独自の法として定めた決まりを何というか。 _____

武士の成長

院政から武士の政権へ

鎌倉幕府の成立と執権政治

8

武士の政権の成立②

1 武士と民衆の生活

1 地頭の支配 地頭となった武士は、莊園や公領に簡素な館を建て、質素な生活を送る。⇒①

- (1) 二重支配 農民は領主に年貢を納めていたが、地頭の支配も受ける。紀伊(和歌山県)の阿氏河荘では農民が地頭の横暴を領主に訴えた。⇒②
- (2) 地頭の成長 地頭は、領主と争う中で土地に対する権利を強める。→幕府による裁判で地頭に土地の半分があたえられる(下地中分)。

2 武士の生活 日ごろから武芸の訓練にはげみ、名誉を重んじて恥をきらう「弓馬の道」や「武士の道」を重視。惣領を中心に団結し、領地は分割相続する。女子にも領地があたえられ、女性の地頭も多くいた。

3 農業と商業の発達

- (1) 農村の変化 牛や馬を使った耕作や鉄製の農具が広まる。草木の灰を肥料にし、米と麦を交互に作る二毛作が始まる。
- (2) 商工業の発展 農村に鍛冶屋や紺屋などの手工業者が住み着く。寺社の門前や交通の要地で月3回定期市が開かれ、宋銭が使われる。

2 鎌倉時代の文化と宗教

1 鎌倉文化 宋の文化や武士の好みを反映した、写実的で力強い文化が生まれ、京都や鎌倉を中心に発達する。

- (1) 建築・彫刻 戦乱で焼けた東大寺南大門が宋の様式を取り入れて再建される。門の左右には運慶らによる金剛力士像が収められる。⇒③
- (2) 絵画 似絵という写実的な肖像画がえがかれる。
- (3) 文学 後鳥羽上皇がまとめさせた「新古今和歌集」には藤原定家・西行らの和歌が収められる。随筆では鴨長明が「方丈記」、兼好法師が「徒然草」を著す。琵琶法師が「平家物語」を語り広める。⇒④

2 鎌倉仏教 分かりやすく実行しやすい教え。

(1) 念仏

- ① 法然 一心に「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えればだれでも極楽浄土に生まれ変わることができるという浄土宗を開く。
- ② 親鸞 阿弥陀如来を信じる心を強調した浄土真宗を農村に広める。
- ③ 一遍 念仏の札を配り、おどりを取り入れて時宗を広める。

(2) 題目 日蓮は法華経の題目を唱えれば人も国家も救われると説き、日蓮宗(法華宗)を開く。

(3) 禅宗 宋から、栄西は臨済宗、道元は曹洞宗を伝える。2つの宗派は、座禅によって自分の力でさとりを開く禅宗で、武士の気風に合う。幕府は禅宗を保護し、中国から僧を招く。

(4) 仏教と神道 祈とうを行う天台宗や真言宗は、幕府や朝廷の保護を受ける。神を仏教に取りこんだ神仏習合が広がり、神道が生まれる。熊野三山では神と阿弥陀如来を結びつけて信仰される

① 武士の館



屋根は板ぶきで、館の周囲には堀やへいをめぐらせ、門の上には物見やぐらをつくって弓矢やたてを備える。武芸の訓練(笠懸・流鏑馬・犬追物など)のために馬や犬、鷹を飼う。

② 阿氏河荘の農民の訴え

阿氏河荘上村の百姓たちがついでして申し上げます。……
一(領主に納める)材木のことでありますが、地頭が上京するとか、あるいは近所の労役だとかいっては、このように人夫として地頭の所でこき使われるので、ひまが無いのです。残りわずかな人を、材木を山から運ぶために送ると、地頭は「にげた百姓の畑に麦をまけ」といって、追いもどしてしまいます。…… (部分要約)

実物は片仮名で書かれている。

③ 東大寺南大門



④ 「平家物語」の冒頭部分

祇園精舎の鐘の声、
諸行無常の響きあり。
娑羅双樹の花の色、
盛者必衰のことわりをあらわす。
おごれる人も久しからず、
只春の夜の夢のごとし。
たけき者も遂にはほろびぬ、
ひとえに風の前の塵に同じ。

源平の戦いでの武士の活躍をえがく。

▶ 確認問題

次の問いに答えなさい。

20問

1

- (1) 荘園や公領に、幕府の任命によって派遣された武士を何というか。(1) _____
 (2) 農民が、荘園や公領の領主に、米や布、絹などを納める税を何と (2) _____
 いうか。
 (3) 地頭と領主との争いの中で、荘園や公領の土地の半分を地頭のも (3) _____
 のとしたことを何というか。
 (4) 武士の中で育ってきた、名誉を重視し、恥をきらう態度や武士ら (4) _____
 しい心構えは何と呼ばれたか。
 (5) 武士の家で、子や兄弟などをまとめる一族の長を何というか。(5) _____
 (6) 武士の慣習の一つで、一族の長の土地を、あとつぎだけでなく、(6) _____
 そのきょうだいにも分けあたえた相続方法を何というか。
 (7) 鎌倉時代に行われるようになった、同じ田畑で米と麦を交互に作 (7) _____
 る農業を何というか。
 (8) 鎌倉時代に寺社の門前や交通の便利な所で月の決まった日に開か (8) _____
 れるようになった、商品しょうかんを交換する場を何というか。

2

- (9) ①鎌倉時代に再建された東大寺南大門の左右に置かれた彫刻作品 (9) ① _____
 ②その像を中心となって造ったのはだれか。 (9) ② _____
 (10) 後鳥羽上皇の命令で編集され、貴族の藤原定家、武士から僧にな (10) _____
 った西行らの歌が収められている歌集を何というか。
 (11) 鴨長明が、社会のむなしさなどを著した文学作品を何というか。(11) _____
 (12) 兼好法師が、いきいきとした民衆の姿を著した随筆集を何という (12) _____
 か。
 (13) ①「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」で始まる、源平の (13) ① _____
 争乱での武士の活躍をえがいた文学作品を何というか。②各地をめ (13) ② _____
 ぐってこれを語り広めた盲目の人々を何というか。
 (14) 法然が浄土信仰の教えを徹底することを目指した教えを何という (14) _____
 か。
 (15) 親鸞が広めた、阿弥陀如来を信じる心を強調した教えを何という (15) _____
 か。
 (16) 一遍が、念仏の札を配り、踊りを取り入れて広めた教えを何とい (16) _____
 うか。
 (17) 日蓮が、法華経の題目を唱えれば人も国家も救われると説いた教 (17) _____
 えを何というか。
 (18) 座禅によって自分の力でさとりを開こうとする教えを何というか。(18) _____

武士と民衆の生活

鎌倉時代の文化と宗教